

県立図書館事業

生涯学習課

1 事業目的

地方創生の新たな時代に対応し、情報・知識基盤社会における多様な県民の「知の拠点」としての役割を果たすため、県全体の図書館サービスの中核たる県立図書館としての機能を強化し、公共図書館及び学校図書館とともに様々な情報を活かした新しい図書館づくりを進め、「誰もが主体的に学ぶことができる環境づくり」を推進する。

使命 (Mission)

県立長野図書館は、「共に知り、共に創る広場」として、信州に関わるすべての人々が「自由に考え、意見を表明し、社会に参画し、意思決定することで、個人と社会の幸福を追求する」という、民主的社会の普遍的な価値を支えるため、人類社会の文化的な発展と平和な世界に、将来にわたって寄与しつづけます。

2 事業内容

項目	内容	予算額
市町村と県による協働電子図書館“デジとしょ信州”運営事業	全ての県民が自由に「本」にアクセスできるよう、市町村と協働で電子書籍貸出サービス「デジとしょ信州」を運営し、学校教育との連携や多様な学びの場における活用検討、読書バリアフリーのさらなる推進等に取り組む。	1,037万6千円
信州・知のポータル「信州ナレッジスクエア」の運用	県内の美術館、博物館、自治体等と連携し、信州に関する様々な情報資産やデジタルアーカイブをつなぎ、「実感ある知」を獲得する学びの総合的・横断的なポータルサイトとして充実・運用を図る。	2,337万3千円
所蔵資料デジタル化事業	大正から昭和初期に刊行された郷土資料のデジタル化を行い、著作権満了となったものをデジタルアーカイブのプラットフォーム「信州デジタルコモンズ」で公開することにより、地域の貴重な記録を誰もが広く活用できる環境を充実する。	90万円
「信州・学び創造ラボ」活用事業	「共知・共創」のコンセプトに沿った運営を行うための専門人材の配置や、アウトプットを通じた学び合いを促すデジタル工作機器類（3Dプリンター等）の整備により、人と人がつながり共に学び合い、新たな社会的価値が創造される場を目指す。	527万3千円
県民の生涯にわたる「学び」を支援するための情報資源充実	信州のどこからでも、主体的な学びのもと誰もが等しく望む情報を手に入れ、新たな世界と出会い、自立的に未来を創る力を養うために必要な資料・情報資源の収集・提供および利用環境の整備充実を図る。	4,636万1千円
管理運営費等	施設維持費、光熱水費等	1億864万7千円
	計	1億9,493万円

3 令和6年度予算額 1億9,493万円